

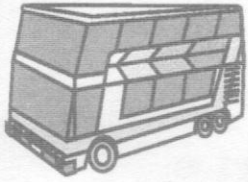


KIFA  
Plaza

かわら版

発行日：平成16年10月4日

発行：鎌ケ谷市国際交流協会  
〒273-0195 鎌ケ谷市初富928-744  
TEL 047-445-1141 (内線550)  
FAX 047-441-9400



K I F Aバスツアー

## 天候にもめげず箱根観光を みんなで楽しむ



9月26日(日)・KIFAの日帰りバスツアーが行なわれた。昨年までの春季とちがい今年の実施時期は秋季。場所は人気の高い箱根を選んだためか、多くの応募者があったので抽選を行った。ツアー人気もあって募集枠いっぱいの90名の参加があった。

参加者の国籍はアメリカ、フィリピン、カナダ、バングラディシュ、スリランカ、イギリス、台湾など。朝8時に鎌ケ谷市役所前を出発して首都高速、東名高速を通り海老名SAで最初の休憩をした。

最初のSAに着くまで、途中車内では自己紹介をしたりして和気あいあいと過ごした。千葉県内では小雨だったが、神奈川県に入り空は曇っていた。雨は幸いにしてやんだ。しかし乙女峠を越え大涌谷の見学になると霧がかかって近景しか見えない。みんなで上部を目指し登っていったが、途中道の両脇では噴出硫黄の強い臭いが立ちこめ鼻をつく程であった。

食べると1個で7年の寿命が延びると言い伝えられる名物の黒たまご(温泉玉子)を食べたり、全員で記念写真を撮ったりした後、芦ノ湖畔へ下って高い杉並木の箱根旧街道石畳を散策した。

今回はお弁当も主催者側で用意し、恩賜箱根公園で食事をとった。晴れた日ならば、ここからは眼下に芦ノ湖の全貌や遠方には富士山が見えるのだが、この日は残念ながら湖の一部だけしか見えなかった。

今回参加された外国人の方々は、特に富士山を見たいという希望が強かったようだった。食後、『関所跡資料館』と小田原の『かまぼこ博物館』を見学のあと帰途についた。帰りのバスではゲームなどで楽しんだ。天気には恵まれなかったが、外国人や初めての方々から大変楽しく、来年もぜひ参加を希望したいとの感想を聞いて、我々の苦労も報われた。

(T. T)



当日晴れていれば、芦ノ湖がこうに見えるのかも？



大涌谷にて



観光名所も霧で残念！



箱根旧街道杉並木



箱根関所跡

## KIFA 市民夏まつりに参加



夏まつりパレード



新鎌ヶ谷駅北口広場



左 KIFAブース内



KIFAスタッフとALTの先生

8月28日(土)、恒例の市民夏まつりは30回の節目を迎え、会場を新鎌ヶ谷駅北口広場に移動して開催された。当日は朝から小雨模様の天気だったが、幸いにも終日降られることもなく猛暑の最後を飾る夏まつりは無事に終わった。

今年は会場を変えたこともあって、新たなイベントもまた実施が可能となった。朝10時には新鎌通りを会場へ向けてパレードがはじまった。中部小学校のプラスバンド隊が奏でる軽快なマーチとともに、お神輿やヨサコイソーラン、おても座の踊りなどが続く。これらは整備された新しい会場ならではの催しでもあった。3万人を超える人々が訪れたというから、会場内は足の踏み場もないほどの盛況ぶりである。

出展者多数のため、KIFAブースは昨年比去年とグリーンと小さくなってしまった。これがとても悔やまれる点である。それでも実行委員会

の皆さんはいろいろと工夫を加え、これまでの国際交流の成果や未来の構想を展示しPRに務めた。

KIFAがこれまで取り組んできたお花見やバーベキューパーティ、KIFAパーティ、バスツアーなど在外外国人との交流(担当:交流部会)、英語をはじめスペイン語、中国語などの語学研修や外国文化を楽しむ会(担当:研修部会)などの写真を展示し、ブースを訪れる人たちの関心を引いた。

新しい試みとしては、現在市内小中学校に派遣されてきているALT(Assistant Language Teacher)の若い女性教師2人(ニュージーランド出身)が我々のブースを手伝ってくれたことである。彼女たちの力添えでKIFAブースが一段と華やかで人目を引いたのは真に喜ばしいことであった。

(C.W)

左 西村広報部長  
右 安達さん

## 沼南町国際交流協会の広報部員と交流



左 KIFA林委員長  
右 SIFA中山さん

去る7月14日(水)鎌ヶ谷市のすぐお隣の沼南町国際交流協会広報部を訪問し、国際交流協会の広報活動及び紙面作りなどについてお互いの意見交換を行った。当日は、当協会広報委員会より林委員長及び前任の渡部委員長ほか広報委員3名が出席。先方の沼南町国際交流協会広報部からは西村広報部長、中山SIFA副委員長、安達さんの3名の広報部員の方に対応をいただいた。

沼南町の国際交流協会広報部は庁舎の中に活動拠点を設け、役所側からも1名の専任者が協会事業をサポートするという恵まれた環境にある。現在SIFA(沼南町国際交流協会)は設立16年を経過し、広報部ほか10部会があり、広報部の部員は7名とのことである。

広報活動の多言語化にも積極的に取り組み、使用言語は日本語(外国人のための【ルビ版】)のほかに英語、ハングル語(昨年度より)の広報紙を発行してい

るといふ。SIFA会員は現在400名、町役場の総務部所管で事務局専任者1名(パート)を置いて活動を続けている。

SIFAの広報紙の発行は3種類を発行している。

①SIFAニュース(会員向け) ②SIFAニュース ルビ版(市内在住外国人向け) ③インターシティ(町内全戸に配布)

来年柏市との合併後は、SIFAの国際交流で提携する姉妹都市は、①キャムデン市(オーストラリア) ②トーランス市(アメリカ) ③承德市(中国)となる。

SIFA広報部は、広報キャリアの長い西村広報部長、ほかに英語に強い安達さん、紙面構成に関わる技術に強い中山さんのメンバーを中心に、広報紙の紙面拡充や各種広告媒体の充実が図られている。SIFAも来年の3月28日柏市と合併が行われるので、その合併準備や来年度以降の柏市国際交流協会との役割分担をどのように決めるかなど課題は多い。

翻って、KIFAの広報委員会は広報紙の初稿作成段階に至るまで、工程はパソコンを利用した紙面作成により編集工程の時間短縮と経費節減に効果はあったものの、広報委員会部員の人材確保に苦勞をし、女性陣の参加や若手の広報委員参画が強く望まれている。いずれにせよ、今回初の隣町との広報担当者相互の交流は、いろんな面で広報活動に対する刺激となり有意義な交流であった。

(S.K)

# 変貌する国際都市上海

許 艶 (xǔ yàn)

上海は1927年に市となり、現在は中国4大直轄市の一つとして工業発展の中心地でもあり、面積は6,340km<sup>2</sup> (東京都の約3倍)、人口は1,400万人以上 (2000年) の発展著しい都市です。

また、発展が著しいがために、労働者の偏りがでてきて貧富の差が大きい。海外資本が多く街の方には高層ビル群が軒並みに建ち並んでいます。

季節感がはっきりしていて、日本の東京とほぼ同じような気候です。私の生まれた育った場所は『上海市普陀区』です。

その上海と中国事情について皆さんにこれからお伝えしたいと思います。

## ・女性、仕事、家庭・

中国の女性は結婚して子どもが生まれると、産休を半年か1年とったあと、仕事に復帰するのがほとんどです。子どもは自分で世話したり、親に子どもの面倒を見てもらったり、幼稚園で朝から夕方まで長い時間を預かってくれたり、また月曜日から金曜日までは子どもを幼稚園に泊らせるシステムを利用することもできます。

女性は、より多くの時間を仕事に費やすことによって、企業での男女はまったく平等の立場で働くことができます。

私が以前中国の政府機関で働いた時に、局長は女性で、管理職は半分女性でした。夫婦が同じ会社で働いているときの上下関係では、妻が上司で夫が部下のケースも珍しくありません。

大都会特に上海では、家庭内の地位、家計など妻がすべての、権利を握るケースが多いです。中国では、残業はほとんどないため夫は洗濯や料理、子どもの教育など家事も分担し、いつも先に帰る人が料理を作るというのが普通のことなので、女性より料理の得意な男性も多いのです。これも日々の成果でしょう。日本の男性にもぜひ見習ってほしいと思います。

## ・一人っ子政策・

建国当初、米英など先進国を追い越すため、国の指導者は人海戦術が必要と判断して、「多い子政策」を実施しました。わずか30年で中国の人口は4億5千万人から一気に倍近く9億人に増えましたが、逆に先進国との格差がさらに拡大しました。

80年代初期から中国は多い子政策をやめて、一人っ子政策に切り替えました。

中国は昔から“重男軽女”の意識が強く、新生児の男女比は大きく男性児の方に偏っています。2人目を産む場合は罰金を取られます、罰金は高額で約平均年収の2年分支払わさせられます。

ところが中国人は海外で出産すれば2番目以後に生まれた子どもには罰金がかかりません。海外での出産



中国語を担当される  
許 艶 先生

1992年中国上海市財経  
大学卒業94年来日。  
現在、柏市国際交流協会勤務。  
04年からKIFA中国語講座  
講師。



上海・外灘にて

の場合一人っ子政策はあてはまらないのです。つまり海外でお産をするときには何人の子供を生んでも罰金はかかりません。

## ・子どもの教育・

中国の古い諺に、“望子成龍”があります。その意味は自分のこどもに偉い人になって欲しいということです。特に、一人っ子政策を実施してから、子どもたちが最優先で大事に育てられ、勉強に力を入れ、多くの家庭では子どもの教育が中心となっています。

子どもたちはさまざまなことを半強制的にさせられています。子どもたちは朝から夜まで勉強することも珍しくありません。姉の子どもはまだ小学校5年生なのに、すでに毎日夜9時頃まで宿題をやっています。

英語の勉強は小学校1年生から始まり、さらに毎週日曜日には、塾のような教室に通わせたりとても大変です。いま英語の学習内容は日本の中学3年生並のレベルとなり。英語を使う機会が少ない私にとってはもうだいぶ難しくなりました。

中国経済が発展している沿岸地区の教育水準は学力の面では日本を越えていると思われます。ところが貧しい農村地域では学校に行けない例もまだたくさんあります。ただし、彼等は一人っ子なので自己管理や自立などの面では非常に弱いところが中国の現状です。



上海・豫園にて

## KIFA行事のお知らせ

外国文化に親しむ会

### インドネシア 音楽とお話と

インドネシアの民族楽器「アングロン」(竹製で揺ると妙なる音が出る)によるミニ・コンサートとインドネシアの人たちとお茶を飲みながらの歓談のひとときをお楽しみください。演奏曲目は『椰子に揺れる島』『ラサ・サヤン』『ブンガワン・ソロ』など多数。

- ・日時 10月31日(日)午後1時30分開場、2時開始
- ・会場 東部学習センター レインボーホール
- ・定員 先着順60名
- ・申込み KIFA事務局 TEL(445)1141 内線550
- ・会費 無料

家庭料理講習会

### 上海料理&メキシコ料理 作って食べて見ませんか!

- ・日時 11月14日(日) 10:00~14:00
- ・会場 南部公民館
- ・内容 中国(上海)料理 ・メキシコ料理
- ・参加費 KIFA会員1000円 非会員1500円
- ・募集人数 講習会32名 ミニパーティのみ18名  
(先着順)
- ・申込み KIFA事務局
- ・締切り 11月5日(金)

来年からチャレンジしたい人のための

### KIFA語学講座 一日体験学習会

下記の日程、要領でKIFA語学講座の体験学習会を開催します。定員は先着順に各講座5名までです。

講座名	場 所	日 時
スペイン語	くぬぎ山 コミュニティセンター	12/1(水) 19:30-21:00
英語A	東初富公民館	12/2(木) 19:30-21:00
英語B	南部公民館	12/3(金) 10:00-11:30
中国語	中央公民館	12/4(土) 19:30-21:00

- ・申込み KIFA事務局



KIFA 子ども英会話

### スマイリーキッズ すぐ使える英会話を歌・ 体操・ゲームで楽しく学ぼう!

- ・対象学年 小学校1・2年生 約10名  
小学校3・4年生 約10名
- ・場所 中央公民館
- ・期間 10/23(土)~11/20(土)の  
毎土曜日 午前中各50分・全5回
- ・参加費、申込み方法についての詳細はKIFA事務局まで問い合わせください。

ひろげよう国際交流の輪!

## 2004年 KIFA PARTY 12月5日開催!

- ・会場 市総合福祉保健センター 6階 大会議室
- ・日時 12月5日(日) 13:00~15:30

今年はフレッシュ&パワーアップの二部構成。パフォーマンス中心の前半は、外国人による日本語スピーチ大会、和太鼓演奏、ファッションショーと多彩なアトラクション。後半の立食パーティは、フリーに歓談する国際交流の場を楽しもう!

- ・詳細は、後日お知らせします。  
皆さんお誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さい。

### 編集後記

今年は暑い暑い夏でした。アテネ五輪の日本選手の活躍に熱くなり、連夜の真夏日に暑くなり……。そして、いまは秋たけなわ。

KIFAの秋の事業、行事も目白押しです。すでに箱根バスツアーは無事に終わりました。これから外国文化を楽しむ会、世界の家庭料理講習会、2004年KIFAパーティと続きます。

いうまでもなく、KIFAは研修部、交流部などに所属する部会員の地味ながら、真摯で粘り強い活動に支えられています。それぞれが自分の活動に意義と喜びを見いだします。でも、時には沈黙思考する必要もあるようです。

国際交流活動とは? ボランティアとして何をなすべきか? 自分に何ができるのか?

さて。広辞苑によれば、ボランティアとは①義勇兵。②自ら進んで事業に参加する人。とあります。これをヒントに私もじっくり思いを巡らせたいと思います。秋の夜は長い。

(K.H)